

2023年11月28日

住友理工、創立 100 周年・2029V 達成に向けて 小牧製作所を刷新 ～化工品 新工場着工、製作所の最適化へ～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、「2029年 住友理工グループ経営 Vision」（2029V）の達成に向け、小牧製作所（愛知県小牧市）の刷新を開始します。その第 1 期として 11 月 28 日（火）、化工品新工場の起工式を実施しましたので、お知らせいたします。



起工式の様子



記念撮影

当社は、1929年に三重県四日市市で創業し、1960年には愛知県小牧市に現在の主要工場を開設し、1964年には本社を四日市市から小牧市へと移転いたしました。この約60年間という長い歴史の中で、当社は時代の変化に適応し、事業内容を拡大・変革してまいりました。製作所内の工場設備も、事業の進化に合わせて最適化し、高品質な製品を提供できるよう努力してまいりました。しかし、未来に向けた挑戦は続きます。2029Vの達成に向けて、より一層の成長と進化を遂げ、社会の変化に適応していくために、あらためて小牧製作所全体の見直し・再配置を行っていきます。また、生産の最適化だけでなく、製作所内の安全性のさらなる向上や物流最適化に加え、従業員が働きやすい職場づくりを目指します。

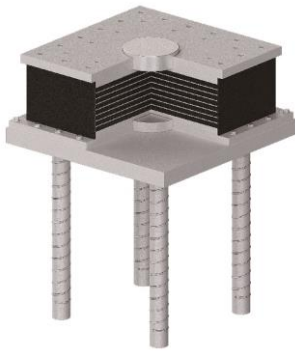
■ 化工品新工場について

2021 年、小牧製作所北部にあった旧社宅および体育館を、老朽化のため取り壊しました。この土地の活用について、現状の化工品工場を移転して新工場として新築し、小牧製作所内に分散している化工品工場の集約を行います。

当社の化工品事業では、鉄道車両用防振ゴムや橋梁用ゴム支承といった、インフラを支える製品およびビルや住宅を地震から守る制震システム、遮断熱機能を備えた窓用フィルムなどの住環境製品を中心に製造・販売しています。

今回の新工場は 2 階建てで、橋梁用ゴム支承や住宅用制振装置の製造・評価を行うことを予定しています。竣工は 2024 年 11 月、操業開始は同 12 月の計画です。

<新工場で生産する製品の例>



橋梁用ゴム支承

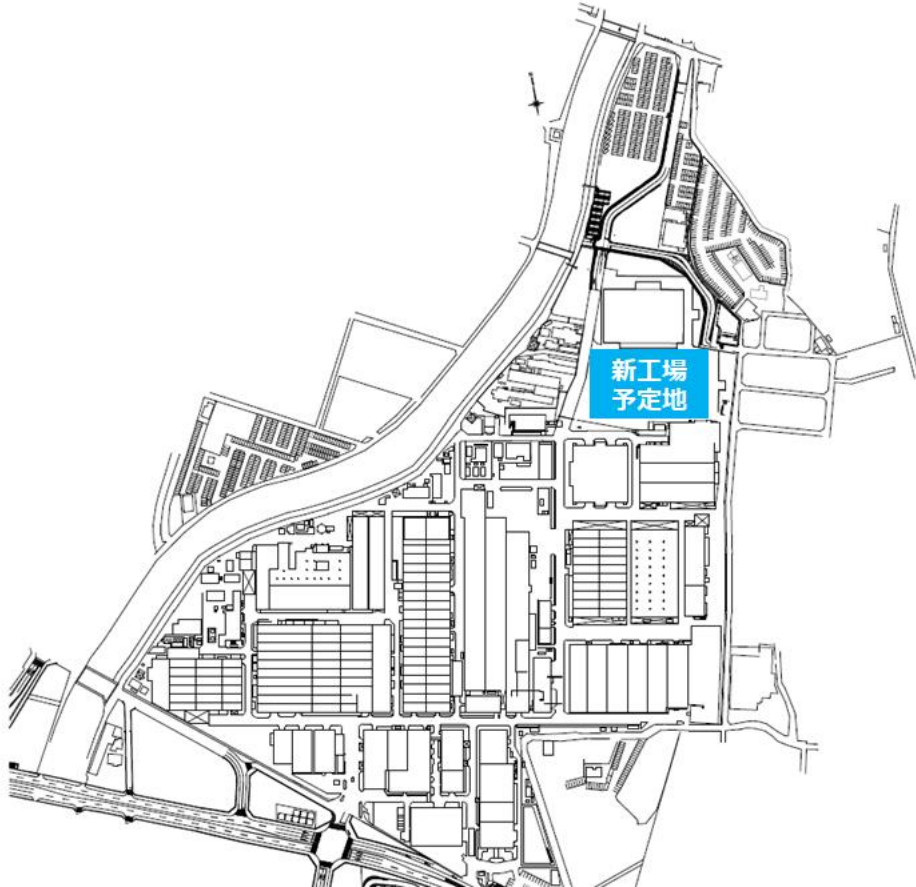


住宅用制振装置「マルチタイプ TMD」

新工場は、フォークリフトの人車分離などにより、安全性を向上させた職場になります。さらに、休憩室やコミュニケーションスペースも現状より拡張し、従業員が働きやすい環境を整える予定です。

<新工場の概要>

所在地：	小牧製作所（愛知県小牧市東三丁目 1）内
事業内容：	化工品事業：橋梁用ゴム支承や住宅環境製品などの開発・製造
竣工時期：	2024 年 11 月（予定）
操業開始：	2024 年 12 月（予定）
従業員数：	新工場では約 30 名（2024 年度見込み）
面積：	建築面積；約 4,700 m ² 延床面積；約 6,600 m ² 小牧製作所の総面積：約 162,100 m ²
投資額：	約 27 億円（建物のみ：～2024 年度）



小牧製作所 俯瞰図

当社グループは、2029Vにおいて、2029年のありたい姿を「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」と設定しました。ありたい姿の実現に向けた方向性の一つとして、「未来を開拓する人・仲間づくり」を掲げています。今後も、技術の進化・融合を推進し、社会課題の解決に貢献し続けるとともに、従業員の個々の成長を促す、育成機会の提供と働きがい溢れる企業風土の醸成のため、働きやすい職場づくりにも努めてまいります。

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>